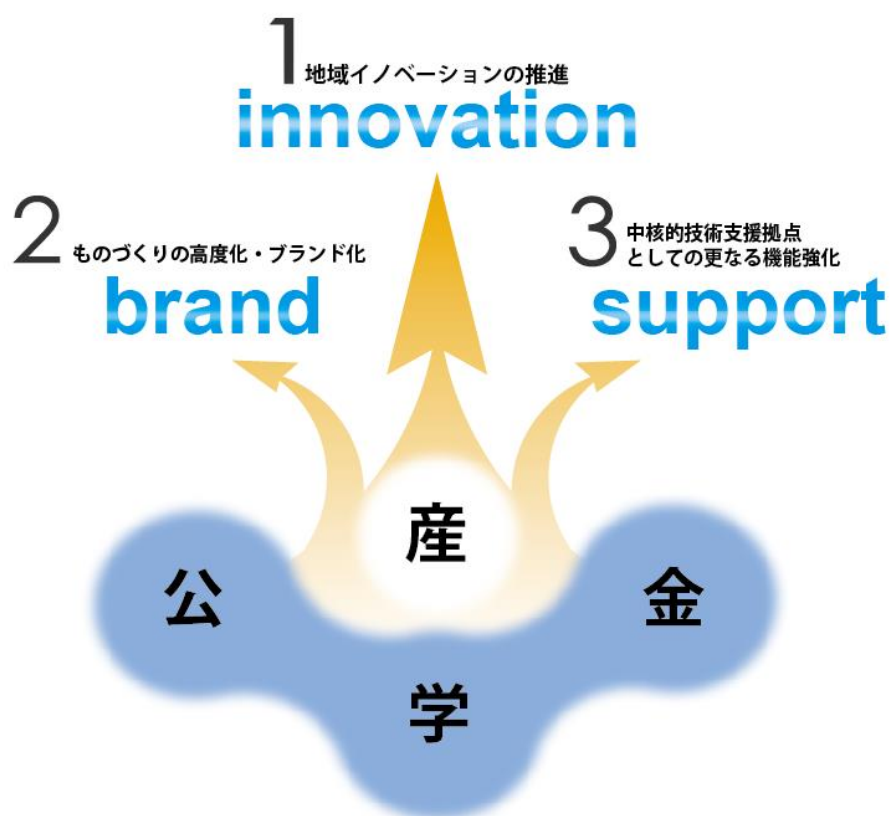


平成30年度

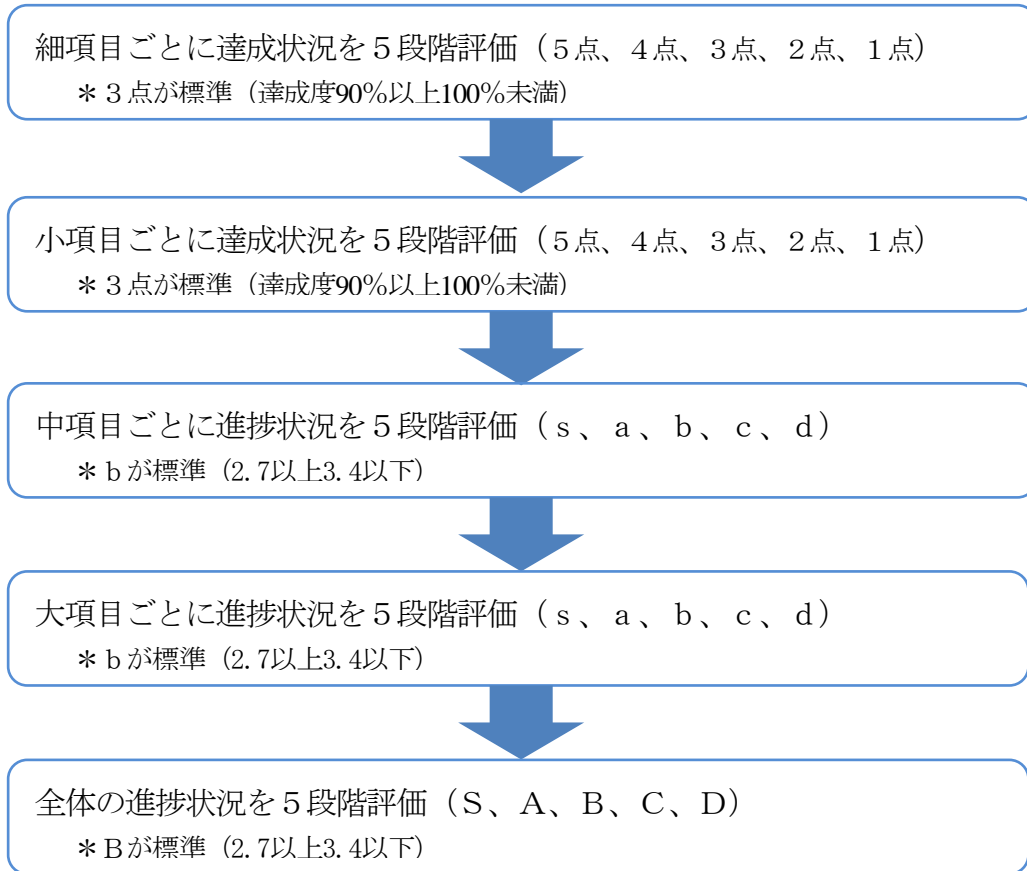
業務実績・決算の概要



# 平成30年度業務実績

## 1 自己評価結果

### (1) 自己評価の方法



### (2) 自己評価の結果

#### ◆全体的な状況

中期計画の進捗は「順調」（A評価（A）：3.7ポイント（3.7））であった。

全体評価は”A”、「進捗は順調」となった。  
H26年度3.9ポイント、H27年度3.7ポイント、H28年度3.7ポイント、H29年度3.7ポイントで、H27年度以降、3年間と同じポイントであり、「順調」に進捗している。  
大項目の「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」では、3つの中項目である「地域イノベーションの推進」、「ものづくり力の高度化・ブランド化の推進」、「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化において、H28年度に引き続き仕組みの整備・充実や業務実績を上げ、それぞれaとなり、大項目全体でもaを達成した。

#### ◆評定の概要

別表のとおり

## 2 平成30年度業務の評価（概要）

### 【大項目】第1 県民サービスの質の向上

（評定：a (a) 大項目ウエイト平均：3.9 (3.9)）

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由 主な取組	報告書									
第1-1 地域イノベーションの推進	a (a)	中項目ウエイト平均：4.0 (4.0)	—									
第1-1(1) 推進体制の整備	4 (4)	<p>年度計画を十分達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国等の補助事業を活用し、4つのチームにより地域イノベーション創出のための活動を推進</li> <li>■ バイオ関連推進チームを創設（7月）</li> <li>■ 国の終了評価（地域イノベーション戦略推進地域及び戦略支援プログラム）で高い評価（A評価）</li> <li>○環境・エネルギー分野で22件（累計57件）、医療関連分野で6件（累計24件）の事業化</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境・エネルギー分野</td> <td>16件 (35件)</td> <td>22件 (57件)</td> </tr> <tr> <td>医療関連分野</td> <td>4件 (18件)</td> <td>6件 (24件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（ ）内、累計</p>		H29年度	H30年度	環境・エネルギー分野	16件 (35件)	22件 (57件)	医療関連分野	4件 (18件)	6件 (24件)	9
	H29年度	H30年度										
環境・エネルギー分野	16件 (35件)	22件 (57件)										
医療関連分野	4件 (18件)	6件 (24件)										
第1-1(2) 関係機関との連携による研究開発・事業化促進	4 (4)	<p>年度計画を十分達成</p> <p>○イノベーション推進センター及び産学公連携室を中心とした取組による研究開発プロジェクトの競争的資金を獲得し、そのプロジェクトの円滑な実施から事業化までを支援し、多くの事業化に繋がった。</p> <p>&lt;イノベーション推進センター関連&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25件 (6件)</td> <td>10件 (5件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（ ）内、新規件数</p> <p>&lt;産学公連携室関連&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>16件 (10件)</td> <td>10件 (3件)</td> </tr> </tbody> </table> <p>（ ）内、新規件数</p>	H29年度	H30年度	25件 (6件)	10件 (5件)	H29年度	H30年度	16件 (10件)	10件 (3件)	15	
H29年度	H30年度											
25件 (6件)	10件 (5件)											
H29年度	H30年度											
16件 (10件)	10件 (3件)											
第1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進	a (a)	中項目ウエイト平均：3.6 (3.8)	—									

第 1-2(1) 実用化研究への取組み	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・実用化研究とその成果による事業化 <table border="1" data-bbox="826 219 1326 456"> <thead> <tr> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7テーマ実施 内事業化：1テーマ 競争的資金獲得に 発展：2テーマ</td> <td>6テーマ実施 内事業化に向けた 取組開始：1テーマ (3件) 競争的資金獲得に 発展：2テーマ</td> </tr> </tbody> </table>	H29 年度	H30 年度	7テーマ実施 内事業化：1テーマ 競争的資金獲得に 発展：2テーマ	6テーマ実施 内事業化に向けた 取組開始：1テーマ (3件) 競争的資金獲得に 発展：2テーマ	17															
H29 年度	H30 年度																					
7テーマ実施 内事業化：1テーマ 競争的資金獲得に 発展：2テーマ	6テーマ実施 内事業化に向けた 取組開始：1テーマ (3件) 競争的資金獲得に 発展：2テーマ																					
第 1-2(2) 研究開発成果の普及・活用	3 (4)	小項目	-																			
ア 研究開発成果の発信・活用支援	3 (4)	年度計画を十分達成 ・研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果の積極的発信 ・共同研究・受託研究の実施状況 <table border="1" data-bbox="826 748 1326 869"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>9 テーマ</td> <td>12 テーマ</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>11 テーマ</td> <td>9 テーマ</td> </tr> </tbody> </table> ・4 件の事業化・商品化実績 <table border="1" data-bbox="826 904 1326 994"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		H29 年度	H30 年度	共同研究	9 テーマ	12 テーマ	受託研究	11 テーマ	9 テーマ	H26	H27	H28	H29	H30	5	4	4	7	4	21
	H29 年度	H30 年度																				
共同研究	9 テーマ	12 テーマ																				
受託研究	11 テーマ	9 テーマ																				
H26	H27	H28	H29	H30																		
5	4	4	7	4																		
イ 知的財産の管理	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・研究開発成果の速やかな知的財産化：職務発明 2 件+特許出願 5 件 (計 7 件) ・独法化後最も多い権利処分 (10 件) <table border="1" data-bbox="826 1196 1326 1397"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職務発明</td> <td>7 件</td> <td>2 件</td> </tr> <tr> <td>特許出願</td> <td>9 件</td> <td>5 件</td> </tr> <tr> <td>新規使用許諾</td> <td>5 件</td> <td>6 件</td> </tr> <tr> <td>権利処分※</td> <td>9 件</td> <td>10 件</td> </tr> </tbody> </table> ※：過年度失効、期間満了及び放棄 ・弁理士を交えた技術グループ毎の知財勉強会		H29 年度	H30 年度	職務発明	7 件	2 件	特許出願	9 件	5 件	新規使用許諾	5 件	6 件	権利処分※	9 件	10 件	22				
	H29 年度	H30 年度																				
職務発明	7 件	2 件																				
特許出願	9 件	5 件																				
新規使用許諾	5 件	6 件																				
権利処分※	9 件	10 件																				
第 1-2(3) 研究会活動の積極的展開	4 (4)	年度計画を十分達成 ○やまぐちブランド技術研究会、新エネルギー研究会活動による継続的支援 (技術革新計画承認 4 企業) ■衛星データ解析技術研究会の積極的な活動 (20 回) による提案公募型研究開発事業での採択 (2 テーマ) ■やまぐち 3D ものづくり研究会の活動に関わる情報発信を県東部で実施 ■スマート★づくり研究会の創設	24																			

第 1-2(4) 研究開発計画策定や資金獲得支援（国等の提案公募型事業獲得支援）	4 (4)	年度計画を十分達成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>○企業の技術革新計画の承認支援</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>H29 年度</td> <td>H30 年度</td> </tr> <tr> <td>6 企業</td> <td>4 企業</td> </tr> </table> <p>○国等の提案公募型事業（競争的資金）獲得の積極的支援</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>H29 年度</td> <td>H30 年度</td> </tr> <tr> <td>30 件 ( - )</td> <td>40 件 ( 17 件 )</td> </tr> </table> <p>※括弧はものづくり補助金、H29 年度はなし</p> </div>	H29 年度	H30 年度	6 企業	4 企業	H29 年度	H30 年度	30 件 ( - )	40 件 ( 17 件 )	28
H29 年度	H30 年度										
6 企業	4 企業										
H29 年度	H30 年度										
30 件 ( - )	40 件 ( 17 件 )										
第 1-2(5) 数値目標	5 (5)	小項目	—								
ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数 11 件	4 (5)	年度計画を十分に達成 達成度 100% <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○11 件 内訳：特許等出願 5 件、使用許諾 6 件</div>	30								
イ 山口県技術革新計画の承認支援件数 4 件	4 (5)	年度計画を十分に達成 達成度 100% <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">○4 件 支援した全ての企業が計画承認</div>	30								
ウ 国等の提案公募型事業の獲得件数 6 件	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成度 183% <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎11 件 内訳（実施契約を伴うもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省補助事業 4 件、</li> <li>・中国電力技術研究財団 2 件、</li> <li>・サポイン、やまぎん助成基金、</li> <li>地域産学バリュープログラム、</li> <li>地域イノベーション・エコシステム形成プログラム、</li> <li>地域イノベーション戦略支援プログラム 各 1 件</li> </ul> <p>※うち新規 1 件</p> </div>	30								
エ 研究開発・技術支援が事業化（商品化）に至った件数 8 件	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成度 125% <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">◎10 件 内訳：研究開発 4 件、技術支援 6 件</div>	31								
第 1-3 「中核的技術支援拠点」として更なる機能強化	a (a)	中項目ウエイト平均：4.0 (4.0)	—								
第 1-3(1) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実（産学公の連携）	4 (4)	年度計画を十分達成 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><b>新</b>産業技術センターの 3D ものづくり支援拠点機能強化（バーチャル 3D ものづくり支援センター立ち上げ業務）を実施</p> <p>○大学・国公設試や民間機関、やまぐち産業振興財団や金融機関等との連携した取組</p> </div>	32								

第 1-3(2) 技術相談の充実	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・技術相談室の相談対応の専任者による迅速かつ的確な対応と、複数グループの連携による多様な技術課題に対する対応力の強化 ■新県内企業への標準化支援アドバイザーを派遣 ・中国及びシンガポールでの本県出展企業への技術支援や市場調査	40																		
第 1-3(3) 新たな技術課題の掘り起こし	4 (4)	年度計画を十分達成 ○農業・漁業分野については、県内事業者や公設試験等から課題抽出を行い、10 テーマの研究開発に反映させ、4 件の事業化を達成 ○サービス分野については、医療関連の課題の掘り起こしから3件の事業化、衛星データの情報産業への展開する取組で国等の提案公募型研究に2テーマが採択	43																		
第 1-3(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実	3 (3)	小項目	—																		
技術支援機能の強化	4 (4)	年度計画を十分達成 ○企業のニーズを反映した機器整備 (3 機器) ○技術支援サービス向上に必要な機器整備 (新規・更新・増設 : 27 機器) ○機器寿命の長期化のための修繕等 (3 機器) ・機器活用事例パネルの作成・掲示 (3 機器) ・機械加工関連企業利用促進対策の実施 ○技術支援サービス等の満足度が 99% 以上 <table border="1" data-bbox="826 1256 1334 1391"> <thead> <tr> <th>対応</th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話や窓口</td> <td>96%</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>事務手続き等</td> <td>98%</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>技術支援</td> <td>96%</td> <td>99%</td> </tr> </tbody> </table>	対応	H29 年度	H30 年度	電話や窓口	96%	98%	事務手続き等	98%	98%	技術支援	96%	99%	46						
対応	H29 年度	H30 年度																			
電話や窓口	96%	98%																			
事務手続き等	98%	98%																			
技術支援	96%	99%																			
ア 開放機器	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・計画的な機器の保守・校正を継続的に行い、開放機器の信頼性を確保 ・開放機器一覧の継続的な配布 ・利用件数、利用金額とも昨年度と同規模 <table border="1" data-bbox="785 1666 1385 1839"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数 (件)</td> <td>3,078</td> <td>3,565</td> <td>3,430</td> <td>3,066</td> <td>3,068</td> </tr> <tr> <td>利用金額 (千円)</td> <td>20,629</td> <td>20,078</td> <td>20,482</td> <td>17,904</td> <td>17,519</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H26	H27	H28	H29	H30	利用件数 (件)	3,078	3,565	3,430	3,066	3,068	利用金額 (千円)	20,629	20,078	20,482	17,904	17,519	
年度	H26	H27	H28	H29	H30																
利用件数 (件)	3,078	3,565	3,430	3,066	3,068																
利用金額 (千円)	20,629	20,078	20,482	17,904	17,519																

	イ 依頼試験	4 (4)	年度計画を十分達成 ・試験方法の見直しや機器の保守、校正を継続的に 行い、試験結果の公正性を確保と、オーダーメイド 試験による柔軟な対応 ○利用件数が過去最高 <table border="1" data-bbox="791 338 1430 506"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>621</td> <td>558</td> <td>577</td> <td>643</td> <td>774</td> </tr> <tr> <td>利用金額(千円)</td> <td>8,840</td> <td>10,688</td> <td>13,446</td> <td>14,176</td> <td>11,826</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">O.M.*</td> <td>件数</td> <td>20%</td> <td>22%</td> <td>30%</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>金額</td> <td>36%</td> <td>54%</td> <td>65%</td> <td>58%</td> <td>53%</td> </tr> </tbody> </table> *O.M.: オーダーメイド試験	年度	H26	H27	H28	H29	H30	利用件数(件)	621	558	577	643	774	利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446	14,176	11,826	O.M.*	件数	20%	22%	30%	23%	割合	金額	36%	54%	65%	58%	53%	50
年度	H26	H27	H28	H29	H30																														
利用件数(件)	621	558	577	643	774																														
利用金額(千円)	8,840	10,688	13,446	14,176	11,826																														
O.M.*	件数	20%	22%	30%	23%																														
	割合	金額	36%	54%	65%	58%	53%																												
	ウ 受託研究・共同研究	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・企業からの共同研究・受託研究の実施状況 <table border="1" data-bbox="831 696 1334 815"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29 年度</th> <th>H30 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>9 テーマ</td> <td>12 テーマ</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>11 テーマ</td> <td>9 テーマ</td> </tr> </tbody> </table> ・開始時期、研究期間の柔軟な対応（共同研究 4 テーマ）		H29 年度	H30 年度	共同研究	9 テーマ	12 テーマ	受託研究	11 テーマ	9 テーマ	51																						
	H29 年度	H30 年度																																	
共同研究	9 テーマ	12 テーマ																																	
受託研究	11 テーマ	9 テーマ																																	
	エ 技術者研修	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・職員派遣研修 2 件（派遣職員数 7 人） ・技術者受入研修 11 名 ※内訳・技術者受入研修 1 名 ・スポット研修 10 名 ・学生研修生 1 名 ・インターンシップ研修生 2 名	51																															
	オ 新事業創造支援センター	4 (3)	年度計画を十分に達成 ○利用促進を図るために、パンフレット等を活 用して PR（平成 30 年度内の入居 2 社） ・技術革新計画承認企業に対する減免制度運用 （制度利用 3 社） ・産学連携料金（減免措置）の適用（申請企業 2 社） ○入居企業数（室数）が増加傾向に転ずる ・入居状況：6 社 7 室 / 12 室	52																															
	第 1-3-(5) 数値目標	5 (5)	小項目	—																															
	ア 技術相談件数 3,300 件	5 (4)	年度計画を十二分に達成 達成度 132% ◎ 4,368 件	53																															

イ 訪問企業数 230社	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成度 180% ◎ 414社 うち 研究員：309社 イノベーション推進センター：264社 重複企業数：159社	53
ウ 開放機器・依頼試験の利用件数 3,040件	5 (5)	年度計画を十二分に達成 達成度 126% ◎ 3,842件	53



【大項目】第2 業務運営の改善・効率化

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3.0 (3.0))

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 100%; text-align: center;">中項目</td> </tr> <tr> <td style="width: 100%; text-align: center;">小項目</td> </tr> <tr> <td style="width: 100%; text-align: center;">細項目</td> </tr> </table>	中項目	小項目	細項目	評定	評定の理由 主な取組	報告書
中項目						
小項目						
細項目						
第2-1 運営体制や経営資源配分の見直し	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・経営委員会、合同会議及び全体会議の定期的な開催による迅速な意志決定 ・定年退職者の再任用制度により2名のシニアスタッフを配置 新国税ダイレクト方式電子納税の採用	54			
第2-2 職員の職能開発の計画的実施	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・研修計画に基づき、外部機関への研修派遣や外部講師を活用した所内研修を実施	55			
第2-3 法人サービスの「見える化」	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・刊行物(4種類)を発行し、ホームページへの掲載や発表会・展示会等などを通じて広く配布 ・機器活用事例パネルの作成・掲示(5機器) ・機械加工関連企業利用促進対策のパンフレットの作成・先行配布	60			
第2-4 コンプライアンスの確保	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・研究開発に係わるコンプライアンス確保のための新規規程群について正式運用を開始 ・規程の定めに基づき、研究開発に関わるコンプライアンス確保のための教育を実施	63			
第2-5 情報管理の徹底	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・新規採用職員を対象に職員教育を実施 新ウイルス対策ソフトのクラウド化 新ネットワーク関連機器の計画的な更新の開始(一部更新)	65			
第2-6 危機管理対策の推進	3 (3)	年度計画を概ね達成 ・集中豪雨や台風時の危機管理対策を検討 ・BCP専用のメールアドレスを記載した「H30年度非常連絡系統図」を作成、配付及び周知	65			

【大項目】第3 財務内容の改善

(評定：a(a) 大項目ウエイト平均：3.6 (3.6))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
		第3-1 自己収入の確保	
第3-2 経費の抑制	<p>3 (3)</p> <p>年度計画を概ね達成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度事業費の実績の考慮と厳密な積算による予算の抑制</li> <li>・執行管理のため、上半期終了後に予算執行状況の集計・再配分を実施</li> <li>・比較的規模の小さな経費まで精査</li> </ul>	68	

【大項目】第4 その他業務運営に関する重要事項

(評定：a (a) 大項目ウエイト平均：3.5 (3.5))

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由		報告書																														
		主な取組																																
第4-1 施設設備の適正な管理				—																														
施設設備の適切な管理	3 (3)	年度計画を概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■施設・設備の保守点検、修繕など                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・保守業務への計画的な予算配分</li> <li>・必要性の高い修繕への優先的な予算執行</li> </ul> </li> <li>■施設の利用促進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・外来受付者が H26 年度以降最高</li> </ul> </li> </ul>	69																														
【数値目標】 来庁者数 11,000人	5 (5)	年度計画を十分達成 達成度 121%	<p>○13,294人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設利用者</td> <td>4,216</td> <td>4,050</td> <td>4,033</td> <td>4,035</td> <td>3,739</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>753</td> <td>780</td> <td>706</td> <td>1,196</td> <td>1,014</td> </tr> <tr> <td>外来受付者</td> <td>6,906</td> <td>6,969</td> <td>7,974</td> <td>8,161</td> <td><b>8,541</b></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,875</td> <td>11,799</td> <td>12,713</td> <td>13,392</td> <td>13,294</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	H29	H30	施設利用者	4,216	4,050	4,033	4,035	3,739	見学者	753	780	706	1,196	1,014	外来受付者	6,906	6,969	7,974	8,161	<b>8,541</b>	計	11,875	11,799	12,713	13,392	13,294	70
	H26	H27	H28	H29	H30																													
施設利用者	4,216	4,050	4,033	4,035	3,739																													
見学者	753	780	706	1,196	1,014																													
外来受付者	6,906	6,969	7,974	8,161	<b>8,541</b>																													
計	11,875	11,799	12,713	13,392	13,294																													
第4-2 環境負荷の低減	3 (3)	年度計画を概ね達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境マネジメントの取組を継続し、省エネ・省資源、ゴミの分別収集による古紙などの再資源化等の取組</li> <li>■新省エネアイデアに関わるアンケートを実施</li> <li>■新化学物質管理規定（化学物質リスクアセスメント）の運用と課題の抽出</li> </ul>	71																														

3 H29年度に対してH30年度に評価が上がった項目について（頁は報告書のページを示す。）

頁	評価項目	H29	H30	H30の取組等										
p.52	第1-3(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実 ア 新事業創造支援センターの効率的活用	3	4	○平成30年度内の新規入居が2社となり入居企業数が増加傾向に転じた  ○減免措置制度の利用企業が5社に増加										
p.53	第1-3(5) 数値目標 ア 技術相談件数	4	5	◎第2期で最高値 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,815件</td> <td>4,324件</td> <td>4,301件</td> <td>3,868件</td> <td>4,368件</td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	3,815件	4,324件	4,301件	3,868件	4,368件
H26	H27	H28	H29	H30										
3,815件	4,324件	4,301件	3,868件	4,368件										

4 H29年度に対してH30年度に評価が下がった項目について

頁	評価項目	H29	H30	H30の取組等										
p.21	第1-2(2)研究開発成果の普及・活用 ア 研究開発成果の発信・活用支援	4	3	△実績は低下したが、H29以外と同規模 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td><b>4</b></td> </tr> </tbody> </table>	H26	H27	H28	H29	H30	5	4	4	7	<b>4</b>
H26	H27	H28	H29	H30										
5	4	4	7	<b>4</b>										
p.30	第1-2(5) 数値目標 ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数	5	4	○11件（目標11件） ※ 内訳：特許等出願5件、使用許諾6件										
p.30	第1-2(5) 数値目標 イ 山口県技術革新計画の承認支援件数	5	4	○4件（目標4件） ※ 支援した全ての企業が計画承認										

## 5 平成30年度に計画していた特筆すべき事項に関する取組状況

### 【第2期の目標達成に向けて】

頁	特筆すべき事項	取組状況
p.17 p.21	<p>①実用化研究とその成果の知財化と実施</p> <p>&lt;第1-2 中小企業力の向上に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進&gt;</p> <p>&lt;実用化研究への重点的な取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくり力の高度化・ブランド化の源になる<u>技術シーズの獲得</u>に向けて、実用化研究での取組をさらに充実させる。</li> </ul> <p>&lt;獲得した技術シーズの活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究開発で得られた<u>技術シーズの速やかな知的財産化とその実施</u>に努め、県内企業での事業化を一層推進する</li> </ul>	<p>&lt;実用化研究への重点的な取組&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術戦略に基づく実用化研究を積極的に進め、主要な研究開発6テーマ中、1テーマ(3件)で事業化に向けた取組を開始すると共に、2テーマで競争的資金の獲得に発展した。</li> </ul> <p>&lt;獲得した技術シーズの活用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果を積極的に発信した。</li> <li>4件の事業化・商品化実績があった。</li> <li>研究開発成果の知的財産化(職務発明2件、特許出願5件)を速やかに進め、申請から取得、普及(新規実施許諾6件)への対応を適切に行った。</li> </ul>
P.46 P.52	<p>②技術支援拠点としての機能強化</p> <p>&lt;第1-3「中核的技術支援拠点」として更なる機能強化&gt;</p> <p>&lt;試験研究機器の整備と保守&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業ニーズを踏まえた<u>先端的試験研究機器を整備</u>するとともに、開放機器・依頼試験の信頼性を確保するために必要な保守・校正・修理を計画的・継続的に実施する。</li> </ul> <p>&lt;利用促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内で企業数の多い分野の<u>利用促進</u>に向けて、新たな業種向けのパフレットの作成・配布や、セミナー・個別相談を引き続き実施する。</li> </ul> <p>&lt;新事業創造支援センターの利用促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入居企業の開放機器使用料や室料の減免措置等の制度を有効に活用して、<u>空室の利用促進</u>に向けた取組を推進する。</li> </ul>	<p>&lt;試験研究機器の整備と保守&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業のニーズを反映した機器整備(3機器)</li> <li>技術支援サービス向上に必要な機器整備(新規・更新・増設:27機器)</li> <li>機器寿命の長期化のための修繕等(3機器)</li> </ul> <p>&lt;利用促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機器活用事例パネルの作成・掲示:3機器</li> <li>開放機器一覧2018内に、保有機器22機種の機器活用事例集を追加</li> <li>機械加工関連企業利用促進対策の実施</li> </ul> <p>&lt;新事業創造支援センターの利用促進&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用促進を図るため、パンフレット等を活用してPR</li> <li>平成30年度内の新規入居が2社となり入居企業数が増加傾向に転じた。</li> <li>各種減免措置等を継続実施した結果、減免措置制度の利用企業が5社に増加した。(H29は1社)</li> </ul>

【第3期に向けて】

頁	特筆すべき事項	取組状況
p.9	<p>③<u>地域イノベーションの新たな取組</u>            &lt;第1-1 地域イノベーションの推進&gt;            ・イノベーション推進センターに新たにバイオ関連推進チームを創設し、バイオテクノロジーを専門とするプロジェクトプロデューサーを県内大手企業から招聘し、これまでの医療関連分野、環境・エネルギー分野にバイオテクノロジーで横串を入れるとともに、食品などの新たなバイオ関連分野を含めたイノベーションに取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イノベーション推進センターに新たにバイオ関連推進チームを創設(7/1～)し、バイオテクノロジーを専門とするプロジェクトプロデューサーを県内大手企業から招聘することにより、これまでの医療関連分野、環境・エネルギー分野にバイオテクノロジーで横串を入れるとともに、食品などの新たなバイオ関連分野を含めたイノベーションに取り組む体制を整えた。</li> </ul>
p.20 p.27	<p>④<u>ものづくり力の強化に向けた取組</u>            &lt;第1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進&gt;            &lt;製品開発力の強化&gt;            ・県内企業における自社製品の開発力を強化するため、技術グループ横断的な「製品開発チーム」による県内企業との企画段階からの共同開発の取組を加速化する。            &lt;ものづくりのIoT化&gt;            ・県内企業のIoT導入を促進するため、IoT導入に関心のある県内企業の調査や県内IoTベンダー企業との基盤技術の開発、セミナーなどを実施し、「スマート★づくり研究会(仮称)」の創設(平成31年度)に向けた準備をする。</p>	<p>&lt;製品開発力の強化&gt;            ・製品開発チームによる、県内企業からのテーマ募集を行い、3件のテーマについて実用化に向けた取組を開始した。            &lt;ものづくりのIoT化&gt;            ・県内企業のIoT導入を促進するため、当初の計画(平成31年度)よりも前倒し、平成30年11月1日にスマート★づくり研究会を創設した。また、研究会を企業等に周知するため、キックオフセミナーを開催するとともに、初回の研究会を開催して正式な活動を開始した。</p>
p.32 p.43	<p>⑤<u>新たな拠点機能の構築に向けた取組</u>            &lt;第1-3「中核的技術支援拠点」として更なる機能強化&gt;            &lt;3Dものづくり支援拠点&gt;            ・“粉末焼結式樹脂成型機”などを新たに導入するとともに、大容量3Dデータを管理(共有、受け渡し、セキュリティ確保)するクラウドサーバを整備し、「バーチャル3Dものづくり支援センター(仮称)」の運用開始(平成31年度)に向けて準備をする。            &lt;衛星データ利用促進拠点&gt;            ・県内企業の衛星データ利用に係る研究開発・事業化を支援する「宇宙データ利用推進センター」の設置に向けて取り組む。</p>	<p>&lt;3Dものづくり支援拠点&gt;            ・“粉末焼結式樹脂成型機”、“構造最適化ソフトウェア”を新たに導入すると共に、大容量3Dデータを管理するクラウドサーバの整備及び人材育成を行い、「バーチャル3Dものづくり支援センター」の平成31年度からの運用開始に向けた取り組みを行った。            &lt;衛星データ利用促進拠点&gt;            ・JAXAや山口大学と連携して衛星リモートセンシングデータを情報産業に展開するため積極的に取り組んだ。            ・宇宙データ利用推進センターの設置に向け、準備を進めた。</p>

## 6 平成30年度の自己評価結果を受けて、令和元年度に実施する特筆すべき事項

- ① 成長産業における研究開発支援体制の強化 <第1-1 成長産業の発展に向けたイノベーションの推進>
- 成長産業の発展に向けて、県内企業のニーズ、シーズの発掘から事業化に至るまでの研究開発プロジェクトを総合的に支援するコーディネート体制を次のように強化する。
- ・ 医療関連、環境・エネルギー、バイオ関連産業におけるイノベーションの推進を支援する「イノベーション推進センター」の継続・運営
  - ・ 県内基幹産業（基礎素材、輸送用機械）などの研究者や技術者が交流する場（やまぐちR&Dラボ）を構築し、企業連携による新技術・製品等の創出を支援する「R&Dラボ推進事務局」の設置・運営
  - ・ 県内企業の衛星データの利用促進を支援する「宇宙データ利用推進センター」の設置・運営
  - ・ I o Tベンダーとユーザーの協創によって、I o Tを活用した新たなビジネスの創出を支援する「I o Tビジネス創出支援拠点」の設置・運営
- ② 各種技術研究会活動の積極的な展開 <第1-2 中小企業力の「底力」の発揮に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進>
- ・ 新しい技術研究会の創設を含め、「やまぐちブランド技術研究会」を中心とした技術研究会の再編を適切に行い、それらの研究会活動を積極的に展開する。
- ③ 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化 <第1-3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化>
- <相談等の充実>
- ・ 支援結果の継続的なフォローアップの効果的・効率的な手法について検討する。
- <技術支援サービスの充実>
- ・ 「バーチャル3Dものづくり支援センター」の運用を開始する。
- ④ 適時・適切な情報発信 <第2-2 センター業務の「見える化」の推進>
- ・ 第3期「技術戦略」を策定し、冊子化する。

平成30年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成31年3月31日現在) (単位：百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,414	固定負債	228
有形固定資産	5,394	流動負債	157
土地	1,001		
建物	4,130	【負債合計】	385
その他	263	資本金	6,375
無形固定資産	20	資本剰余金	△1,189
		資本剰余金	304
		損益外減価償却累計額	△1,493
流動資産	210	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	54	利益剰余金	53
その他	156	前中期目標期間繰越積立金	0
		研究・業務運営充実積立金	53
		当期末処分利益(※H29:0) (14,449)	0
		【純資産合計】	5,238
資産合計 (※H29:5,737)	5,624	負債・純資産合計	5,624

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨 (平成30年4月1日～平成31年3月31日) (単位：百万円)

費用の部		収益の部	
経常費用	870	経常収益	870
業務費	256	運営費交付金収益	603
人件費	489	使用料・手数料収入	34
管理運営費	126	特許実施料	1
		受託事業等収益	94
		資産見返負債戻入	60
		その他収益	78
臨時損失	0	臨時利益	0
(当期純利益)	0)		
当期総利益 (14,449)	0	目的積立金取崩額	0
合計 (※H29:924)	870	合計	870

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 官庁会計ベース

(単位：百万円)

収入		支出	
運営費交付金等	624	業務費	203
使用料・手数料等収入	34	人件費	489
研究費収入	138	一般管理費	122
補助金収入	62	施設費	132
その他自己収入	1		
前年度繰越金	71		
目的積立金取崩	16		
合計 (※H29:931)	947	合計	947
収支差額			0

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。





